琉球大学学術リポジトリ

平成20年度　トータル支援活動について

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学教育学部附属障害児教育実践センター
	公開日: 2009-06-08
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 浦崎, 武, Urasaki, Takeshi
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/10787

琉球大学教育学部障害児教育実践センター紀要
No.10, 77-78, 2009.

平成20年度　トータル支援活動について

琉球大学教育学部付属障害児教育実践センターでは一昨年度、2006年10月より実践トータル支援活動をスタートさせ、本年度で３年目を向かえた。この活動は地域の子どもたちへの支援教育や保護者の子育て支援を行うことにより地域社会に貢献すること、子ども、学校、教育機関、関連機関、保護者との連携により学生や現職教員の実践力の向上を目的としている。

トータル支援活動は「トータル支援教室」と「実践事例研究会」に大きく分けられ、学生、現職教員、保育士、臨床心理士、医師など関連機関の専門家が参加し行われてきた。子どもたちとの関わりや実践事例の報告を通して、関連領域を含め多面的な視点により発達支援教育を学ぶということをコンセプトとしており、実践に重点をおいた支援の質の向上を図っている。

「トータル支援教室」は、学生や現職教員が支援を必要とする子どもたちとの関わりや集団活動を企画立案することを通して、支援教育に関連する実践領域の専門家のサポートを得ながら具体的な支援の手だてやチーム支援のあり方の基盤を学ぶことができる。この活動は個別支援、集団支援、学校および教育機関との連携支援、子育て支援という４つの柱から成り立つており、月２回のプログラムとなっている。活動への参加者は発達支援、教育実践を行い、その活動の終了後、子どもたちとの関わりによるエピソードを具体的に取り上げ、反省会を行う。また、その後、参加メンバーみんなで行う交流ミーティングを通して子どもたちの理解および支援のあり方を深める。学生には来年度から当センターが提供する講義『発達支援教育実践Ａ』、『発達支援教育実践Ｂ』のなかで実践活動のフィードバックを行う予定であり、講義を通して実践による関わりやスキルを再度確認することができ、実践と理論を融合させた教育を目指している。

このトータル支援活動は、子どもたちひとりひとりの教育的ニーズに応え、教育現場に貢献する人材を育成するため、以下の７つのプログラムにより実践を積み上げている。①企画立案（グループミーティング）、②支援教育実践（トータル支援教室）、③スーパーヴィジョン（トータル支援教室における集団支援ミーティング、個別・集団支援連携ミーティング）、④基礎学習（講義、読書会、公開セミナー）、⑤実践考察（実践事例研究会）、⑥公開研究成果発表（公開スーパーヴィジョン、公開実践研究成果還元）、⑦実践研究論文作成（実践研究紀要作成）という①計画－②実践－③検討－④学習－⑤考察－⑥成果発表－⑦成果報告－①再計画－②再実践・・・という年度を通した一連の活動を積み重ねていくことで実践力を磨いていくプログラムとなっている。

本年度は、『読谷村教育委員会の特別支援教育支援員の実践力養成支援』として、読谷村の協力依頼により支援員を受け入れ、新たな取り組みを行った。学校における気になる子どもたちについて支援を行う特別支援教育支援員の実践力の養成は、市町村が独自で支援員を採用するようになったこともあり、現在の学校教育の大きな課題となっている。

そこで、本紀要では、読谷村教育委員会との本センターとの取り組みを実践研究として「大学との連携による特別支援教育支援員の実践力養成に対する教育行政の取り組み」を報告する。さらに、『トータル支援教室』の集団支援の取り組みから「発達支援が必要な子どもたちへの他者との関係性に焦点を当てた集団支援企画'ツユコレ'」（浦崎、崎濱、武田、瀬底）、個別支援として「思春期の発達障害児に対する関係形成による発達支援－事例の変容過程に焦点を当てて－」（武田、浦崎）、定例で行っている『実践事例研究会』から「沖縄における広汎性発達障害児童の少人数指導とかかわり－言葉に遅れのある頭蓋手術後1年児童の特別支援学級実践」（金城，浦崎）について実践報告する。

トータル支援教室

集団支援

他者との関係性に焦点を当てた発達支援が必要な子どもたちへの集団支援活動‘ツユコレ’（浦崎武，武田喜乃恵，崎濱朋子、瀬底正栄）

連携支援

大学との連携による特別支援教育支援員の実践力養成に対する教育行政の取り組み（宜保健、読谷村特別支援教育支援員、浦崎武）

個別支援

思春期の発達障害児に対する関係形成による発達支援－事例の変容過程に焦点を当てて－（武田喜乃恵，浦崎武）

実践事例研究会

沖縄における広汎性発達障害児童の少人数指導とかかわり－言葉に遅れのある頭蓋手術後１年児童の特別支援学級実践－（金城明美，浦崎武）